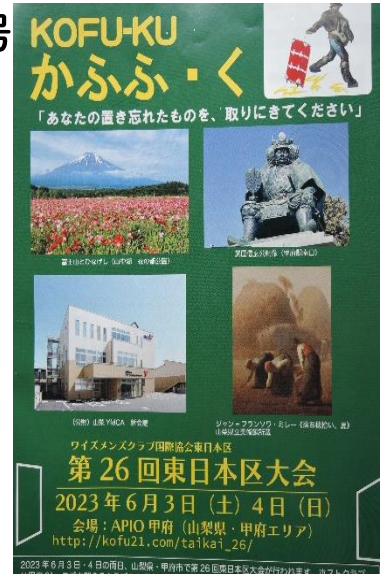




とつか 2023年6月会報 第344号

国際会長(IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)  
 2022 主 題 “Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光を」  
 スローガン ‘Good Communication is the Cornerstone in Every Cooperation’  
 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」  
 アジア太平洋地域会長(AP) Chen Ming Chen (Taiwan)  
 ~ 主 題 “Elegantly Change Let with New Era” 「新しい時代とともに変化を」  
 スローガン “Doing It Right Now” 「今すぐ実行を」  
 東日本区理事(RD) 佐藤重良 (甲府 21)  
 2023 主 題 “Let's act now for the future” 「未来に向けて今すぐ行動しよう」  
 「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」  
 スローガン “Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself”  
 湘南・沖縄部部長(DG) 小松仲史 (厚木)  
 主 題 主 題「楽しく・元気よく・前向きに」・副 題:「入りたくなるワイズにしよう」  
 クラブ会長 吉原 訓 主 題「原点回帰」: 副会長 若木一美・書記 加藤利榮・会計 岡 進・ネット 吉原和子



会員ひとこと



☆ メネット活動 ☆ 吉原和子  
 輪番で書いているブリテンの「会員ひとこと」の番が回ってきたようです。“コロナ等でメネットの動きはできないままですが、そろそろ…”と、サブタイトル付きで、これからのメネットの活動を期待する原稿?をご希望のようでしたが、なかなかご期待には添えません。湘南・沖縄部でのメネット委員会の活動は全くありません。とつかクラブとしての活動も行っていない。メネット委員会で行っている国内プロジェクト ‘YMCA施設に絵本を贈る’ という運動に毎年送金はしています。とつか保育園でも毎年、絵本を注文していただいているようです。

小さな運動ですが、ワイズメネットから絵本が贈られていることは、うれしい限りです…。  
 横浜とつかクラブとしての、メネット会への参加はほとんど私独りで、なんの活動もできていないのが現状です。ただメンの活動を補佐すること、例会に出席すること、YMCAからの要望のお手伝いをするくらいです。  
 私 個人では、以前にお付き合いのあった、乳児園の子どもたちの人形作り、買い物遊びに使うバッグや布団を作るなどを行ってきました。  
 とつかクラブのメンの皆さま、どうぞメネットさんと同様に例会へのご参加をお願いします。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”  
 ★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

◎今月の聖句◎

御言葉を述べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。とがめ、戒め、励ましなさい。忍耐強く、十分に教えるのです。  
 —テモテへの手紙二・第4章2節—  
 私にとって、弱気や恵みを共有することは有益です。自分の弱さを通して他の人々にも喜びが届きます。  
 生きて働き、ワイズ年度の終わりに臨み、私たちを強めてくださることに感謝しましょう…。

強調月間  
 YMCA サポート・歴史・振り返り

YMCA サポートは「ワイズの信条・2」に明記されている。歴史は、次の「振り返り」と関連付けて考えた方が良さそうで、コロナ禍の中、思うように活動できなかったこの1年を振り返りながら、来るべき次年度への足掛かりを考えたいものです…。

～5月の会合～	会員数： 11名
例会出席：メン	7名・出席率：90%
ゲスト：	0 名
ビジター：	0 名
メネット：	2 名

## 例会報告

日時：2023年5月20（土）13:00～15:00  
会場：湘南とつかYMCA・205号室  
出席者：吉原 訓会長・岡 進・浦出昭吉・鈴木ひろ子・  
瀬戸担当主事・土方喜美代・加藤利榮

（メネット）加藤明子・吉原和子 ー以上9名・敬称略ー

100%・対面によるクラブ例会が、上記の形で開かれました。  
初夏を思わせる陽気の中、思い思いの服装、やや空腹を抑えたひと時、担当主事の配ったレジメに沿って議事は進みました。

報告では、4月の竹の子例会や厚木クラブ訪問などの結果報告と、YMCAから設立30周年記念事業の内容等が示され、設立年の同じクラブとしては、従来の様に共同開催が望まし旨を、今後とも両者間で、なお、煮詰めることとしました。

現時点における「今後の会合予定」としては、次の6月の例会日は、6月24日（土）13時とし、当面、次期クラブ役員は今期の役員がそのまま踏襲することとされた。また、YMCAからは、例年開催してきた11月の‘Yバザー’は、今期は開催の予定にあること、更に今後、リーダー一会とクラブとの交流について、前向きに検討したい旨、担当主事から報告されました。

議事の中で、先ごろ東日本区書記から、クラブの「CS献金」

## ☆ 5月の例会から ☆

加藤利榮

が1位になった旨の連絡がクラブ会長あてにあった旨  
会長から披露があり、期せずして拍手が上がりました。

なお、表彰は甲府大会の席上行うとのことであるが、  
残念ながら、クラブからの大会参加者がいない状況が  
分かり、ちょっと気落ちしないでもありませんでした。

予定時刻の15時少し前に閉会点鐘となり、一同、恒例  
の記念写真に納まり、コロナ後の久しぶりでの対面例会  
は恙なく終了、いつものお食事処へと歩を速めました。



## ☆ 2022年度横浜YMCA会員総会から ☆

若木 一美

日時：2023年5月27日（土）14:00～16:40  
会場：聖光学院ラムネホール（JR山手駅下車・徒歩10分）  
出席者：常議員・横浜YMCA 佐竹総主事ら関係の職員・維持会員  
上記の会合が開催され、維持会員の私も参加しました。

コロナの置土産か、オンラインの定着により、現地の会場  
まで足を運ばれた皆さんが少なめで、会場参加者は、一般の  
維持会員よりも主催者側、もしくは常議員ら提案者側の人数の  
方が多い感じで、また、今回は書面による表決もあったことから、  
現地での人数がだいぶ少なめに見えました。

定刻の14時、開会礼拝で始まり、そのあと2022年度事業・  
決算報告があって、いわゆる連結決算の結果、収支状況は改善  
されつつあるとのことでした。例年ですと、ここで採決となる  
手順ですが、上記のように書面による表決があるため、結果の  
可否は6月3日（土）までに書面で…ということになり、例年  
馴染んできた採決による雰囲気とはだいぶかけ離れたの取扱い  
に、参加者の中には拍子抜けされたご仁もおられたのではない  
か…と感じた次第です。（第1号議案・写真1）

次に、2023年度事業及び予算説明があり、上記の取扱いと同じ  
方式～書面による…～で行われ、これも一様に問題なく終わ  
りました。（第2号議案）

小憩ののち、ユースリーダーによる活動報告（写真2）、また  
第3号議案は、常議員選出という…従来ですと大事な人事案  
件ですが、これも後日書面で…ということでした。

引き続き第4号議案、会員表彰と「奉仕の書」表彰、これは  
決議事項には当たらないことから、46名のユースリーダーと今期で  
退任される常議員会議長の鈴木茂さんへの「奉仕の書」授与でした。

総会の終わりは、工藤理事長や佐竹博総主事から  
ご挨拶を頂いたのち、閉会の礼拝に移り、今年度の  
総会も無事終了しました。

今年度は、‘コロナ後’ということもあってオンライン  
による方式や書面による表決も行われたりで、いわゆる  
例外的な会員総会という印象が強く前面に出てお  
りましたが、次回からは、会場中心の採決が復活する  
であろうことを願い、それと今回のような方式が続けば、  
会員総会が遊離してしまう恐れ無きにしも非ず…で、  
次期総会は、従来の方式に戻して会員が離れないよう  
配慮すべきと思いました。



（写真1）



（写真2）

（写真は何れも横浜YMCA広報室ご提供）

## 特別寄稿

### ☆ワイズの思い出☆ 井田伸太郎



1986年4月のチャーターメンバーとして、御殿場ワイズメンズクラブにお世話になりました。それから35年間在籍しましたが、体調を崩したこともあり、退会させていただきました。その間、2005～6年度には富士山部々長を仰せつかり、東京グリーンクラブの浅見隆夫理事のもとインド・コーチンの国際大会にも参加しました。

インドでは、ガンジーの終焉の地やタージ・マハールの見学やストリートチルドレンの実態等を理解することが出来ました。戦後の浮浪児がこんなだったのかな?…と複雑な思いでした。しかし、女性のサリー姿は美しかったです。貧富の差の大きいお国柄ですね…。

そのころから、当時、区のJEF運営委員長だった加藤さんから、横浜とつかクラブのブリテンを毎月送っていただくようになりました。

また、韓国・京城でのアジア大会にもご一緒させていただきました。そのころ、「冬ソナタ」の最盛期? ネットや女性会員の多くがバスの中で「冬ソナ」のDVDが日本語吹き替えで流され始めますと、目を真っ赤にして見入るご仁もおられ、なに…と、見たことのない私にはチンプンカンプン、関係のスポットではバスを降りての見学に、感激ひとしおだったようでした。…と、こうして原稿を書いていると、さまざまな出来事が走馬灯のように行き交い、まさにそのいずれをとっても、ワイズに在籍したからこそ…と、思うようにその筆先も進まず、滞りがちになってしまいそうです。

お蔭さまで、長い間ワイズにお世話になり、多くの忘れ得ぬ貴重な「思い出」を頂くことが出来ました。

時折、とつかのブリテンから、お世話になった方々の計報に接し、在りし日の当時に浸っております。

今後ともワイズの益々の発展を心より願っております。

(以上)

(井田伸太郎さま、お忙しい中、貴重な原稿を有り難うございました。当時を思い出しました…。)

実を申すと、今から3年ほど前、この欄を企画した折に、その一番目の原稿を、貴兄から頂いた記憶があります。

そして、その終わりの部分に、「…東山荘にお越しの節は、いつでもお声をお掛けください。是非、お会いしましょう…。」と…。いずれ実現できれば…と思っておりますが…。(T/k)

## 《レザン通信》

### ☆ 体力測定を実施して ☆



ワークサポートセンターレザンでは、5月2日に体力測定を行いました。例年4月に行っていましたが、カレンダーの関係でGW中の実施となりました。

運動経験が少なく、また、運動習慣が日常でない方が多く通われているため、定期的に身体の状態を把握することを目的としています。



## 緑陰随想

### ☆どうする 沖縄県の…☆ 若木 一美



2020年10月15日付で沖縄クラブの手登根会長から湘南・沖縄部古田部長に発せられた1枚の文書「湘南地域で開催される諸行事について、地理的・物理的に協力困難な状況にあり、今後は沖縄地域に特化し、沖縄YMCAを後援したい。そのために、湘南・沖縄部から独立して、本来あるべき西日本区に所属し、沖縄部設立をしたい。」という内容でした。

この後は、とつかクラブのブリテンに多くの皆さまからのご意見・ご報告のあったとおり、西日本区に沖縄クラブが設立されました。

一方、沖縄那覇クラブへは多くの関係者が連絡を取り、様々に確認をしていましたが、2021年6月1日付・沖縄那覇クラブ玉城会長から湘南・沖縄部古田部長宛てに退会届が提出され、今後は各自で沖縄YMCAを支援したいとの内容でした。その沖縄県に籍を置く両クラブが解散したなかで、私は古田部長から部長職を引き継ぎ、東・西日本区の動きや旧那覇クラブの有志による活動等の聞き取りをし、2022年2月ころ有志で沖縄を訪問する旨、部評議会で同意をいただき、その準備のため、12月には日ごろ関わりの深い元ワイズにも声をかけ、打合せ会を開催しましたが、残念ながらコロナの影響などから実現しませんでした。

グローバル+ローカルの「グローカルクラブ」構想や、有志による新クラブの設立などのご意見を頂いておりますが、同じ県に東と西(の両区)のクラブが…?というのはいかがか…とする意見、問題なし!とする両意見があるなかで、まずはその基礎となる課題に関係者の皆さま、部会や部評議会、さらには区役員会で論議し、結論を出す時期に来ていると考えますが、いかがでしょう…。(以上)



### 横浜YMCA ワークサポートセンターレザン 相馬 良文

10種類の運動測定を行い、日数や距離・時間などを数値化して、体の状態を本人と確認します。

結果は、毎週、金曜日の‘体づくり’の時間の目標として活かしています。





担当主事 瀬戸俊孝

毎年多くの方が水の事故で亡くなっている。その中でも多くは、服を着た（着衣）状態で溺れている。事故事例としては、「キャンプやハイキングの際に河川近くで誤って水に落ちてしまった。」「海で釣りをしていた際に誤って落ちてしまった。」という2例が最も多い事例となっている。命はすべてにおいて優先する掛け替えのないもので、YMCAのアクアティックプログラムは、このかけがえのない命を守り、育むことを目的としている。30年以上前から、着衣泳の体験を毎年この時期に、在籍会員、地域の方を対象に行ってきた。

全国のYMCAでは、無料でウォーター・セーフティーハンドブック（約12万部）、ポスター（約2千枚）を配布している。横浜YMCAでは、神奈川県下のすべての公立小学校にポスターを配布して安全教育に努めている。

これだけ、継続した活動をしていても毎年悲しい事故が無くなることはない。皆さんも大切な家族（お孫さん）や仲間の命を守るために、一人でも多くの方に知ってもらえるようご協力ください。

合言葉は “UITEMATE”



【今月の歳時記】 “さくらんぼ・蛍 ほたる”

**さくらんぼ**：一般にさくらんぼと言われるものは西アジア原産のチェリーとか、シナ原産の桜桃とか言われる実桜の実を指す。つやつやした淡紅色又は赤黄色で美しく、甘酸っぱく美味である。例年、仙台青葉城クラブのファン活動に用いる東根市産の「佐藤錦」は生産・甘味とも日本一で知られる。

舌に載せてさくらんぼを愛しけり 草城  
 さくらんぼ子に食べさせて母若し 立子  
 さくらんぼ少女期は父に愛されし 礼子

**蛍**：初夏の夜、水辺に光りながら飛び交う蛍は美しいもの、あの神秘的な光は「宇治の蛍合戦」などいろいろの伝説を生んだ。腹端に複雑な発光器があり、熱を伴わない冷たい光を発する。小型のを平家蛍、大型のを源氏蛍といい、また山地には姫蛍がいる。五月末から六月が盛りである。

草の葉を落るより飛びぬけな 芭蕉  
 大蛍ゆらり〜と通りけり 一茶  
 三十路とは一途に蛍追ひきれず 礼子

- ◎ 第26回東日本区大会：6月3日～4日：甲府市内
- ◎ 第98回YMCA-Y's協議会：6月6日・19時～
- ◎ 第1例会：6月24日(土)13時・湘南とつかYMCA  
 近くなりましたら担当主事から連絡をさせていただきます。
- ◎ 湘南・沖繩部臨評議会：6月24日(土)17時



# 小トピックス

加藤利栄

(その一) コロナ後の会合がソロリ…

その感染力や感染した場合の重篤性などを総合的に勘案し、この5月8日から5類に…という新聞記事が目に入りました。然らば、その5類とは…。ちょっと調べてみましたら、「…行政が様々な要請・関与から、個人の選択を尊重し、それぞれの自主的な取り組みをベースとする対応を指す…」のだそうで、感染症法上、5段階に分類したうちの最も低い段階に当たる…とか。

(その二) 《アンジュ》と《レザン》について  
 プリテン3ページ下欄に、《アンジュ通信》と《レザン通信》を3年ほど前から交互に、施設長の相馬良文さんの肝いりで連載させてもらっております。

ご参考のため、両者を比較してみました。

《アンジュ》	《レザン》
開所：2007年12月	2018年4月
分類：就労継続支援事業所	横浜市地域活動支援センター
場所：上倉田・明学大前	戸塚町・旧1号国道沿い
対象：継続的就労不自由者	主に在宅障がい者
法令：障害者総合支援法	横浜市条例
所管：国（政令市の横浜市）	横浜市社協
補助：個別給付（実績払い）	包括給付（登録人数払い）
単価：職員比率・就労実績	一律・重度障害加算あり
支払：利用翌々月払い	年4回分割払い
定員：20名	20名
収入：利用人数により積算	利用人数により積算
補助：家賃補助なし	あり
職員：施設長 ほか	施設長 ほか

〈備考〉

- ① 両所とも横浜YMCAワークサポートセンターが18歳以上の発達障がい者支援を対象とした事業で、アンジュが主として、パンの製造・包装・販売等の作業を行っているのに対し、レザンは障がい者のための作業所型支援を運営の基本としています。
- ② 両施設とも相馬良文氏が施設長として運営する。

〈後記〉 今どき、朝、10分か15分、早めに起きるのも…。(t/k)